

せたがや 町総連だより

第48号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林4-31-9ポライト第2ビル202

☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 山野井 崇 二

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 堀江 義之

あけましておめでとうございます

世田谷区町会総連合会 会長 山野井 崇 二



会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から、世田谷区町会総連合会の事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

現在、当総連合会には、197の町会・自治会が加入し、町会・自治会相互の親睦と協調関係の促進、情報交換や区と町会・自治会の連絡調整などを行っています。

また、町会・自治会活動の活性化に向けて、区と協力しながら様々な取り組みを行っています。

世田谷区への転入者等への加入促進チラシの窓口配布や、ホームページでは区内の町会・自治会に関する様々な情報を掲載しています。また、年に2回発行しています町総連だよりにつきましては、各地域の町会・自治会活動を取り上げています。創刊号から47号までホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

当総連合会では、さりげないおもてなしをテーマに、2020年に開催されます東京オリンピック・パラリンピック大会の気運醸成事業を実施しています。

町会・自治会が区民の願いでもあるオリンピック・パラリンピック大会の成功に共に取り組むことは、世界の人々にわがまち世田谷の良さを知ってもらうために、何をしたら良いのか考えるきっかけとしてもらうことにより、併せて町会・自治会活動を知ってもらい、加入促進につながるものと思います。

今年度で3回目を迎えましたこの事業も、昨年12月8日に、北沢区民会館でトーク・イベントを開催いたしました。当日は、大勢の方々に来場いただき大盛況に終えることができました。

昨年は、地震や台風などの自然災害による甚大な被害が日本の各地で発生しました。この様な時こそ「知りあい」「ふれあい」「支えあい」の理念に基いた町会・自治会の果たす役割が益々大きくなってきていることを強く実感しています。

今年も、世田谷区町会総連合会は会員相互で助け合い、親睦を図りながら「安全で安心な住みよい世田谷」を目指して参ります。

結びにこの1年の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

世田谷区長 保坂 展 人



町会・自治会の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、区政の推進に多大なるご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

東京2020大会まであと1年半となりました。区内でも様々な行事が開催され、馬術競技の開催地として、また米国のホストタウンとして、大会に向けたムードが高まっています。世田谷区町会総連合会ではいち早く気運醸成の取組みをスタートさせ、今年度もさりげないおもてなしをテーマに3回目のトークイベントを開催して盛況だったと伺っています。各地域で区民一人ひとりの参加意識を高めていただいていることに、深く感謝しております。

さて、世田谷区は、ふるさと納税の影響が拡がり、今年度は約41億円という大きな減収に直面しています。寄附金という形でご自身にゆかりのある自治体を応援する気持ちは尊いものですが、このままでは肝心の世田谷区の行政サービスにも影響が出かねない、と心配しています。そこで、どうか地元にも目を向けていただき、ふるさと納税を世田谷区へとお願ひしているところです。区

の福祉サービスや教育・子育て支援についてもふるさと納税を可能としました。ぜひ、広報誌やふるさとチョイスなどをご覧いただき、世田谷区へのふるさと納税をご検討いただくようお願いいたします。

90万人を越えて増加を続ける世田谷区民には、年齢、性別、国籍、障害の有無等が異なる様々な立場の人がおり、区は、区民がお互いに多様性を認め合い、誰もが自分らしく暮らせる地域社会を築くことを目指しています。町会・自治会は隣近所のお付き合いで結ばれる地域の中心的なネットワークとして、こうした多様性を日々実感されていると思います。外国人など地域との関わりが浅い方々にとっても住みよいまちづくりに向けて、一層取組みを進め、多くの方が町会・自治会をはじめとする地域活動の輪に加わることを期待しております。

結びに、世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員各位のご健勝を心からお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

地域情報

砧地域

みどりのまち 喜多見

喜多見東部町会 会長 石井敏活

喜多見東部町会は世田谷区のいちばん西の端に位置しており、多摩川沿いにある地区です。かつては一面に田んぼや畑が広がる農村地帯でしたが、今ではその農地も急速に宅地になりつつあります。それでも地域には、神社やお寺が多くその境内や古くからある住宅には「けやき」等の大木が多く残っており地域の緑化を支えていると思っています。農地は今後世代交代で増々減少していくのではないかと懸念しています。

さて当町会の大きな事業の一つに町内の子供達を集めての「夏休み子供会」があります。町内の須賀神社の境内をお借りして喜多見小学校PTAの皆さんと共催して実施しています。内容はカレー炊飯、スイカ割り、ゲーム等で子供達にのびのびと遊んでもらうのが趣旨です。

カレーやご飯の炊飯には、災害時用のカマドを使用し、薪を燃料にして煮炊きをします。この事は災害時の炊き出しの訓練にもなることとして行っています。スイカ割りも「生」のスイカを使用していますので子供達にも楽しく、ワイワイ大騒ぎをしながら遊んでもらっています。

この事業を町会とPTAとで共同して行うことにより日頃の児童の見守りや、災害時の対応等を協調して行える一助となればと思います。

さらに喜多見地区の大きな事業の一つに「喜多見地区区民まつり」があります。



喜多見東部町会 夏休み子供会



喜多見地区区民まつりのにぎわい

喜多見地区町会連合会が主体となり、日赤、社協、青少年地区委員、児童館、地区の敬老会、農協、警察、消防署等が協力して行う喜多見地区の一大イベントです。

会場は喜多見小学校をお借りして毎年11月3日に開催しています。

当日は校庭に約15の模擬店が各町会・自治会や協力団体により出店されます。

中でもわが喜多見東部町会が出店する「やきそば」店は毎年大好評で長蛇の列が出来、その待ち列の整理にも大わらわになっています。

又、まつりでの催しものも多彩で、敬老会の踊り、バレー、和太鼓、ブラスバンド、エーサー等々出演者も小学生から高齢者まで多彩な団体がまつりを盛り上げています。

喜多見地区区民まつりは、今年で39回をかぞえますが、毎年2万人近い来場者を迎えています。地区のおまつりとして、これ程大規模に実施している地区は区内でもそう多くはないと思います。これも地区内の町会、自治会や関係団体が協力しあって出来るイベントではないかと感謝しております。

今後も各町会・自治会が協力、連携して、安全で快適なまちづくりを進めていきたいと思っています。

烏山地域

オウム真理教問題の現状

烏山上町会 会長 古馬 一行

烏山地域にはオウム真理教問題があります。この問題はこの紙面でも2度程、取り上げています。今年で19年目に入りました。オウムからアレフに名前を変えて、当時130名の信者がここに居住しておりました。その後アレフは分裂し、上祐史浩主宰の「ひかりの輪」約50名が烏山に残りました。協議会の取組は、

第1に監視活動です。正月等を除いて毎日監視を続けております。

第2が広報活動です。オウム対策住民協議会ニュースを年10回発行して、オウム問題をお知らせしてきました。

第3がデモ・学習会の開催です。烏山のオウム施設にデモ行進をして、その後、講師を招いて講演会を開きます。

第4が募金活動です。地域のイベントに出かけて募金を集めます。

こうした事を繰り返すことによって、烏山にいるオウム信者は5名ほどになりました。

昨年7月に麻原彰晃ら13名の死刑執行があり、烏山地域のオウム問題も随分マスコミに取り上げられましたが、実はもっと切実な問題が起きております。

3年毎の観察処分更新に、署名集めが必要な為、町総連の町会・自治会の皆様方にご協力をお願いして今回も約5万筆を集めていただき、法務省に提出致しました。しかし、29年9月25日に東

京地裁が、「ひかりの輪」の観察処分を取り消す判決を出しました。国は直ちに控訴し、高裁で闘っております。観察処分を更新する度に、アレフも「ひかりの輪」も、観察処分を不当として、裁判を起こします。今までは、殆ど却下でしたが今回の裁判で初めて、「ひかりの輪」はアレフとは別物と東京地裁が判断をしたという事です。そして、高裁で裁判が続く中、30年1月に再度、観察処分の更新をいたしました。しかし、高裁での裁判に負けると、30年1月に更新した、観察処分も無くなってしまいます。観察処分がなくなるという事は、我々がオウム施設で監視をする事の根拠がなくなるといことです。そこには警察の監視もあれば、公安調査庁の監視もあります。その監視があったからこそ烏山に新しい信者が生まれなかったのです。このような厳しい監視は日本中、ここだけです。もし観察処分がなくなれば、「ひかりの輪」も活発に、信者獲得を行うでしょう。そうなれば、信者が誰を連れて中に入ろうと、もう誰も咎めることは出来ません。そして、上祐がある日、オウム真理教を布教する発言をしても、彼らに再度、観察処分を科すことは出来ないのです。

「ひかりの輪」が烏山にいて、誰も手が出せないオウム真理教が生まれてくるという事です。判決はこの記事が出る頃には出ていると思われま。協議会は今、非常に大きな関心を持ってこの裁判に注目しております。



町総連ニュース

表彰

- ▼平成30年10月1日
東京都功労者表彰
矢島 嗣久 副会長 (代沢中町会会長)
池上 義正 常任理事 (弦巻町会会長)
- ▼平成30年11月22日
厚生労働大臣表彰
宮崎 春代 副会長 (大蔵住宅自治会会長)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成のためのトークイベントを開催しました

- ▼日時 平成30年12月8日(土) 午後2時より
- 場所 北沢区民会館ホール
- 内容 第1部 講演 落語家 三遊亭竜楽
「8か国語落語で笑おう
～コレであなたも国際派～」
- 第2部 対談 飯沼誠司・田中琴乃・三遊亭竜楽
「Enjoy! 2020
地域で広がる笑顔の輪」

◎町総連情報誌編集委員会名簿

平成30年12月現在

役職名	氏名	所属町会・自治会名
会長	山野井 崇二	下馬新生自治会
委員長	堀江 義之	若林町会
副委員長	飯塚 捷子	豪徳寺二丁目町会
委員	網敷 光剛	弦巻町会
〃	遠藤 幸一	大原北町会
〃	阿部 平四郎	馬事公苑前ハイム管理組合
〃	後藤 茂	東玉川町会
〃	綱木 雅敏	フレール西経堂自治会
〃	菊地 朗	都営喜多見2丁目団地自治会
〃	仁藤 栄治	都営第一八幡山団地自治会
〃	松尾 秀好	児ヶ谷会

※次号は世田谷地域・北沢地域・玉川地域の情報を掲載します。

せたがや生涯現役ネットワークからのお知らせ「今ホームページ作成に注目！」

東京都と世田谷区の補助事業を活用して、3年前から区内の町会・自治会を対象にホームページ（HP）作成支援を行っています。

区内197の町会・自治会のうち、HPの設置は1割に満たない状況です。HPがあれば、活動内容を的確に早く多くの人に伝えることができます。区内への転入者はまだ増加傾向にありますが、特に若い世代の方々にはHPの案内は有効であり、町会にスムーズに

加入・参加していただけるものと思います。防犯・防災対応としても大きな力になります。

HP作成支援にかかる費用等は無料です。来年度も引き続き実施する予定です。

応募方法等案内は4月頃に各町会・自治会へ送付予定です。詳細は下記の連絡先まで。

担当：せたがや生涯現役ネットワーク しんがい たかみ 真貝 高三
(090-9010-9065)

編集後記

会員の皆様明けましておめでとうございます。今年は平成の終わりの年、そして新たな年号元年の節目の年ですね。

新たな年の年号が何になるかわくわくしてるところですね。

さて、今回は烏山まちづくりセンター所長とも相談して、烏山地域から「オウム真理教問題」を烏山地域オウム真理教対策住民協議会会長の古馬一行様に寄稿頂きました。平成での「地下鉄サリン事件」が昨年節目を迎えましたが、烏山地域では住民協議会メンバーが大変な苦勞をして、今後ともまだまだ多くの問題を抱え継続した種々の活動をしてるオウム真理教問題なのです。

「安全で安心して住み続けられるまち」になるまで、烏山地域以外の町会・自治会の皆さんも決して忘れず継続した関心を持ち続けることを願うと共に、住民協議会メンバーの皆さんへ「頑張ってください！」のエールを送ります。

編集委員 松尾 秀好

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会 検索

※QRコード



バーコードの一種で、携帯電話で撮影して、簡単にホームページを見ることができます。